

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

移住PRイベントを通じた移住検討者との出会い

令和7年度、しもかわ財団では6月・9月に大阪、7月・10月に東京で開催された移住PRイベントに参加し、下川町の魅力を全国の移住検討者へ向けて発信しました。いずれの回も、北海道内自治体と連携して行う「北海道移住のすゝめ」と、道内への関心が高い方が集まる「北海道移住フェア」を前後の日程で組み合わせ、費用負担を抑えながら効果的なPRを実施しました。

「北海道移住フェア」では、各自治体がブースを構えて来場者の相談に応じます。下川町では一回あたり平均12組ほどの相談があります。件数自体は多くありませんが、その後に実際の来町や移住につながる割合が比較的高いことが特徴で、毎年着実に成果を重ねています。

また今年度は、大阪・東京の両会場でセミナー枠にも登壇しました。セミナーでは地域おこし協力隊制度の基礎から、現在下川町で募集中の地域おこし協力隊求人までをわかりやすく紹介しており、

いずれの回も20〜30名ほどが参加しました。終了後にはブースへ相談に訪れる方も多く、関心の高い層へ直接情報を届ける場となりました。

さらに、「北海道移住のすゝめ」の現地イベントでは30名を超える参加者が集まる回もあり、参加者が複数自治体を比較しながら、それぞれの町の個性や暮らし方を知る機会となりました。下川町の特色も伝わりやすく、町との相性が良い移住検討者との出会いにつながっています。11月には、面白法人カヤックが主催する協力隊募集イベントにも参加し、地域課題解決型協力隊「シモカワベアーズ」の紹介を行いました。

しもかわ財団では、引き続きこれまでの出会いを丁寧につなぎながら、下川町の将来に寄与する関係づくりを続けていき、人口減少の波を少しでも緩やかにできるよう、今後も地道な情報発信や移住相談業務に取り組んでいきます。



■お問い合わせ

総務企画課 企画調整係

☎4-2511 内線227

しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団）☎4-3511

SHIMOKAWA-JIN

しもかわ人

名鑑

MEIKAN

【活動の輪 編】



誰でも歓迎!自由に自然を楽しめる「みくわの日」に行ってみよう

下川で「好き」や「得意」を活かした取り組みやイベントを紹介するコーナー。今月は毎月1回おこなわれている「みくわの日」の運営スタッフ・奥崎裕子さんにお話を伺いました。

「みくわの日」は月に1回、美桑が丘で開催される、季節に沿った森の遊びを楽しむイベントです。薪割りをしたり、ソリ滑りをしたり、木で物作りをしたり。誰でも出入り自由です。焚き火は毎回、必ずおこして、参加する人たちに自由に焼きたいものを持ってくるてもらいます。焼きいもやマシュマロ、おにぎりなんかは定番です。参加費はかかりません。9月にはデイキャンプを行い、15人くらいが参加してくれて、11月は森のようちえん「カカラ」と協力して餅つきをしました。

参加者も、町民を含めていろんな方がいますよ。幼児の子たちは保護者同伴が必須ですが参加してくれたり、小さい頃から参加している子が小学校に上がっても通ってくれたり、中には町外から遊びに来てくれる親子や家族連れもいます。森や自然の中で遊ぶことに興味がある子どもたちや親御さんが、SNSやチラシを見て来てくれることが多いですが、最近は馬のハナちゃんや美桑が丘にいるタ イミングを目指して「みくわの日」に参加してくれる子もいますね。

「みくわの日」はいつもNPO法人森の生活のスタッフとボランティア、約5名の大人で見守りを行っています。大人たちは、よっぽど危険なことでない限りは、基本的に子どもたちのやっていることを見守る姿勢でいることを大事にしています。リスク管理のために「みくわの日」の後は必ず振り返りも行っています。子どもたちにとって「みくわの日」は、好きな遊びを自由にできる場として継続したいと思っているからです。ですから、少しでもそうした環境に共感して下さったり、森遊びに興味があったりする方は、ぜひ遊びに来てください。ご家族と一緒にでもお一人でも、本当に数分、フラッと森を覗きに來たりハナちゃんに会いに來たりしてくるだけでも構わないんです。「みくわの日」はイベントというより、誰でも美桑が丘に遊びに行ける日というふうに覚えてもらえたら嬉しいですね。

（写真提供…NPO法人森の生活）